

WORLD THEATRE
FESTIVAL
SHIZUOKA
SHIZUOKA せかい演劇祭

2025.4.26・5.6

静岡芸術劇場、舞台芸術公園、駿府城公園 ほか

日常に活力をもたらす演劇の“ハレの場”であるSPACの演劇祭がリニューアルします。最先端の舞台芸術作品の上演に加え、様々な関連イベントが開催される演劇祭では、演劇／役者の魅力がSHIZUOKAの街にあふれます。

いま、
最も注目すべき
演出家たちの
話題作が初来日！

〈不可能〉の限りで As Far As Impossible

演劇
日本初演



©Magali Dougados



©Filipe Ferreira

作・演出: ティアゴ・ロドリゲス

製作: コメディ・ドゥ・ジュネーヴ(スイス)

Text and direction: Tiago Rodrigues

Production: Comédie de Genève

アヴィニョン演劇祭の現ディレクターであり、医師の母とジャーナリストの父を持つ作家・演出家のティアゴ・ロドリゲスが、赤十字国際委員会や国境なき医師団などのメンバーとの対話をもとに創作した作品。“不可能”な地域で人道支援に従事する者たちが語る言葉——終わりの見えない紛争に苦しむ世界の最前線がここに。

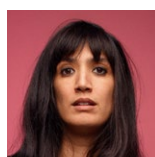
ラクリマ、涙～オートクチュールの^{きら}燦めき～

LACRIMA

演劇
日本初演



©Jean-Louis Fernandez



©Manuel Braun

作・演出: カロリーヌ・ギエラ・グエン

製作: ストラスブール国立劇場(フランス)

Text and direction: Caroline Guiela Nguyen

Production: National theatre of Strasbourg

英国王妃のウェディングドレス製作にまつわる群像劇。2023年にストラスブール国立劇場の芸術監督に就任したカロリーヌ・ギエラ・グエンが、オートクチュール業界を支える人々の光と影を浮かび上がらせる。個人の記憶と集団の歴史を織り交ぜ、静かな暴力にさらされる名もなき職人たちの姿を描く、必見の舞台。

このほかの上演作品については、2月中旬ごろ発表予定。



『マダム・ボルジア』(2019)より ©猪熊康夫



©Takashi Kato

構成・演出:宮城聡

製作:SPAC-静岡県舞台芸術センター

Structure and direction: MIYAGI Satoshi
Production:
SPAC-Shizuoka Performing Arts Center

世界が注目する宮城聡×SPACの新作野外劇は、『マハーバーラタ』と双璧をなす古代インドの叙事詩『ラーマヤナ』。英雄ラーマはさらわれた妻シーターを奪還すべく、超越した力を持つ猿の軍団の加勢をもって魔王ラーヴァナに挑む。夕刻の広場で始まる壮大な冒険譚。神々の化身たちが遥かな時空に誘う!



ストリートシアターフェス

ストレンジシード静岡

Street Theatre Festival "STRANGE SEED SHIZUOKA"

10th
Strange
Seed
Shizuoka

5月3日[土・祝]—5月5日[月・祝]

駿府城公園、青葉シンボルロード
など 静岡市内

(観覧無料／一部予約制・有料の場合あり)



©MAKITA Natsumi (F4,5)

演劇・ダンスが公園や商店街に現れる!? 10年目のストリートシアターフェス「ストレンジシード静岡」は、日常の風景を一変させるパフォーマンスだけでなく、野外で大人も子どもも楽しめるワークショップが盛り沢山。静岡のまちが「なんだ?なんだ?なんだ?」で埋め尽くされる!
<https://strangeseed.info>

このほかにも、ゴールデンウィークの静岡を彩るイベントが盛りだくさん!

詳細は、2月下旬に演劇祭特設サイトに発表します。チケット発売は3月中旬を予定。

<https://festival-shizuoka.jp>



お問い合わせ:SPACチケットセンター TEL.054-202-3399(10:00~18:00/休業日を除く)

主催:SPAC-静岡県舞台芸術センター ほか

SPAC
SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER

芸術総監督 宮城聡

スポンサー=静岡県舞台芸術センター